

特集 令和6年度の決算を報告します

令和6年度の決算が10月の議会で認められました。
皆さんの生活に関わりの深い事業を行う一般会計を中心に、
主な取り組みなどを紹介します。
財政局課(☎504-2075、☎504-2099)

市の決算について、詳しくは市
ホームページで

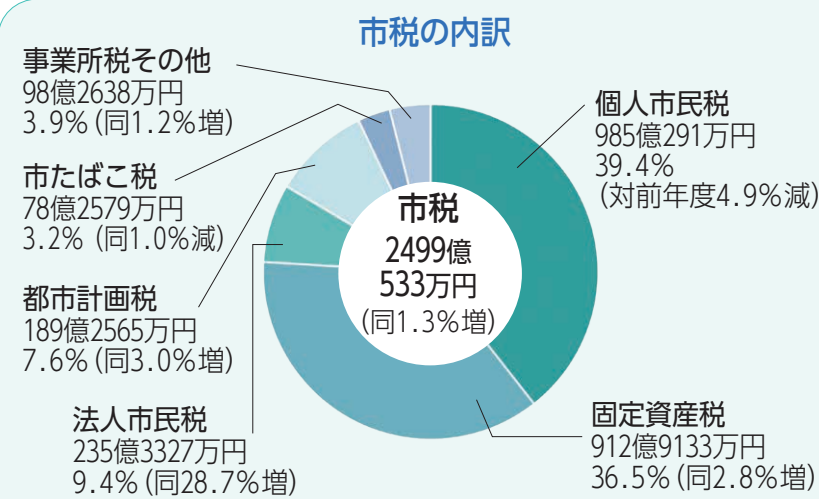
市HP ページ番号 1006014



一般会計 福祉や教育、消防など市が行う行政運営の基本的な経費を経理する会計です。(特別会計・企業会計を除く全ての収入・支出)

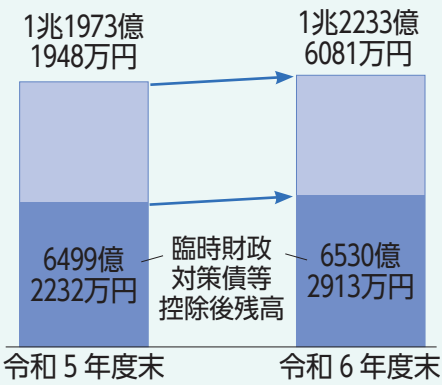
収入 7201億1824万円(対前年度1.1%増)

市税 34.7% 2499億533万円 (対前年度1.3%増)	国庫支出金 23.3% 1676億9866万円 (同3.7%減)	地方交付税 10.8% 776億6630万円 (同19.3%増)	借入金 (市債) 7.3% 528億3485万円(同14.6%減)	貸付金 の元利 収入 ^{など} 5.0% 356億6213万円(同4.2%減)	その他 18.9% 1363億5097万円 (同7.0%増)
--	---	---	--	--	---



借入金(市債)の現在高

市債の残高は、臨時財政対策債(国が地方交付税の不足を補うために市に発行させる市債)の発行などにより、約1兆2233億円となりました。このうち臨時財政対策債などを除く実質的な残高は、約6530億円となっています。



※これまでの税率の引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分(173億7150万円)は、生活保護費などの扶助費に介護保険事業などの特別会計への繰出金などを加えた社会保障費(一般財源900億3212万円)へ充当しています

支出 7166億7672万円(対前年度1.0%増)

福祉サービスの提供 ^{など} 36.3% 2602億8622万円 (対前年度4.2%増)	教育の充実 14.5% 1039億1397万円 (同5.2%増)	道路・市街地の整備、 交通 ^{など} 14.1% 1009億8302万円 (同13.9%減)	市民参加や 平和の推進 ^{など} 10.6% 760億9716万円 (同31.2%増)	保健・医療や 環境対策 ^{など} 9.5% 682億8237万円 (同0.9%減)	その他(借入金返済、 地域経済の振興、消 防、議会運営 ^{など}) 15.0%
--	---	---	--	--	--

主な
取り
組み

高齢者・障害者(児)・児童・ひとり親家庭・低所得者などの福祉、地域福祉の推進



多子世帯の保育料等の負担軽減

学校施設などの整備、学校教育などの振興



広島特別支援学校の校舎増築

道路・橋りょう・河川・港湾・公園・緑地などの整備、住宅対策、都市計画



中央公園広場エリアの整備

コミュニティ・スポーツ・文化などの振興、世界平和の推進



中央図書館等の移転整備(イメージ)

農林水産業・商業・観光などの振興、雇用の推進



ピースツーリズム推進事業

市民1人当たり年間約61万2400円の支出

収入

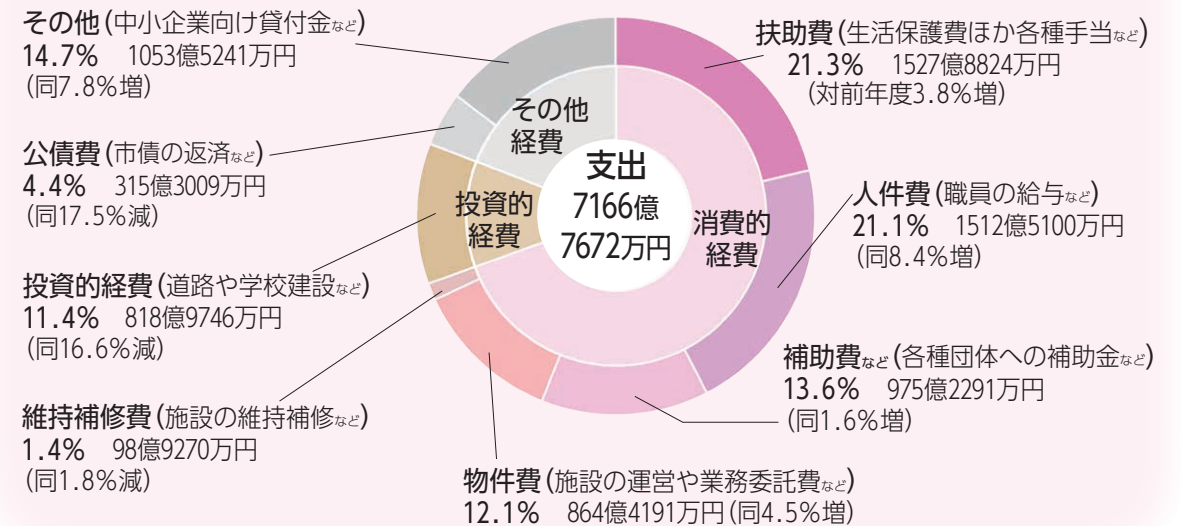
項目	決算額
市税	21万3544円
国庫支出金	14万3299円
地方交付税	6万6366円
借入金(市債)	4万5147円
貸付金の元利収入 ^{など}	3万473円
その他	11万6512円
合計	61万5341円

一般会計の決算額を、市の人口117万275人(令和7年3月末)で割って計算しました。1円未満は端数処理をしています。

支出

項目	決算額
福祉サービスの提供 ^{など}	22万2415円
教育の充実	8万8794円
道路・市街地の整備、交通 ^{など}	8万6290円
市民参加や平和の推進 ^{など}	6万5025円
保健・医療や環境対策 ^{など}	5万8347円
借入金(市債)の返済 ^{など}	2万7039円
地域経済の振興、観光 ^{など}	1万5155円
消防活動 ^{など}	1万2198円
議会の運営	1,359円
災害復旧	315円
その他	3万5463円
合計	61万2400円

性質別に見た支出



令和6年度の収入－支出
34億4152万円

収入から支出を差し引いた34億4152万円から、令和7年度に繰り越して行う事業に充てる14億8553万円を差し引いた19億5599万円が、実質的な黒字となりました。

ポイント
を
解説
します

決算にはどんな意味がありますか？

- 決算は市の取り組みの実績を金額として公表したもので、一般会計年度(4月から翌年の3月まで)にどんな収入があり何に使ったのかが分かります
- 年度の収支により、剰余金(民間企業での黒字額)や借金、貯金額はどの程度なのか、他の市町村と財務状況を比較しどのようになっているか確認することができます
- 決算内容は議会で議論され、今後の行政運営や予算の編成、執行の指針となります

令和6年度決算の特徴は何ですか？

物価高騰対策に引き続き取り組みました。

- 学校や保育園などへの食材購入に係る経費の措置……………10億3335万円
- 中小企業者などへの省エネ機器導入支援……………6億4284万円
- 社会福祉施設などの事業運営のための支援金の支給……………4億3114万円



特別会計

保険料など特定の収入を財源に特定の事業を行い、一般会計とは区別して経理する会計です。国民健康保険や介護保険など20の特別会計があります。

収入	4140億6436万円 (対前年度5.9%増)
支出	4095億35万円 (同6.0%増)

特別会計の種類

- 母子父子寡婦福祉資金貸付
- 物品調達
- 公債管理
- 広島市民球場
- 用地先行取得
- 西風新都
- 後期高齢者医療事業
- 介護保険事業
- 国民健康保険事業
- 競輪事業
- 中央卸売市場事業
- 国民宿舎湯来ロッジ等
- 駐車場事業
- 開発事業
- 市立病院機構資金貸付
- 元宇品町財産区
- 高南財産区
- 三入財産区
- 小河内財産区
- 砂谷財産区

企業会計

サービスの提供に対して皆さんが支払う料金などを収入として事業を行う会計です。水道・下水道・安芸市民病院の三つの企業会計があります。

水道事業会計

利益	234万円 (対前年度5億6074万円減)
収入	218億9813万円 (対前年度1.9%減)
支出	218億9579万円 (同0.6%増)

下水道事業会計

利益	9億2187万円 (対前年度3億7796万円増)
収入	425億7336万円 (対前年度0.1%以上の増減なし)
支出	416億5149万円 (同0.9%減)

安芸市民病院事業会計

損失	139万円 (対前年度398万円減)
収入	21億7725万円 (対前年度6.0%増)
支出	21億7864万円 (同6.2%増)